ALP_IFCC	357100
	担当部署
ALP_IFCC	生化

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		特記事項なし
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→
	3	電子カルテ→指示①→検査→*3.緊急→
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		特記事項なし
検査受付時間		緊急対応(24 時間)

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	特記事項なし
検体採取の特別なタイミング	特記事項なし

	検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-

検体搬送条件	室温
検体受入不可基準	1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体
保管検体の保存期間	冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟 3 階　中央検査部
測定時間	当日中～翌日
生物学的基準範囲	38－113U/L 日本臨床検査標準化協議会　共用基準範囲
臨床判断値	設定なし

基準値				単位	U/L
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
38	113	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

パニック値	高値	設定なし
	低値	設定なし
生理的変動要因		特記事項なし
臨床的意義		アルカリホスファターゼ(ALP)は、生体各組織に存在し主に有機リン酸モノエステルに作用して加水分解を行う酵素の中でアルカリ側に至適 pH を持つものである。 スクリーニング検査として日常臨床検査に用いられるだけでなく、肝、胆管、骨疾患、悪性腫瘍の骨や肝への転移が疑われる場合に測定する。 日本臨床第 7 版 13,2009